

《担当者名》金盛 直茂（看）

【概要】

経済学は初めての方が多くと思う。経済学は、今を生きるために必要な道具である。決して学者や官僚の方々だけが知っていれば良いものではなく、この企業に入社すべきなのか？この人と結婚すべきなのか？いま、家は建てるべきなのか？人生の重大な選択の際、経済学はあなたに示唆を与えてくれるものである。

本授業で経済学を学ぶことによって、現実の様々な問題（身近な日常的な問題から日本経済まで）を、経済学的思考で、考えることができるようになるであろう。

【学修目標】

経済学（主に、ミクロ経済学とマクロ経済学）の基礎を修得し、資本主義経済の仕組みを理解する。

経済学の基礎をもとに日本の財政・金融政策から社会保障を概観し、社会の問題に対して経済学的視点で説明することができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	ガイダンス	講義の進め方を説明する。	金盛 直茂
2	経済の仕組み	トレードオフと費用を使って、人々がどう選択するかを考える。	金盛 直茂
3	経済の仕組み	経済循環図から、市場経済・計画経済との違いを考える。	金盛 直茂
4	経済の仕組み	需要と供給から市場を理解する。	金盛 直茂
5	経済の仕組み	需要と供給を使って、様々な市場に応用する方法を学ぶ。	金盛 直茂
6	経済の仕組み	市場の失敗と政府の役割を考える。	金盛 直茂
7	日本経済の仕組み	GDPとはどのようなものを学び、日本のGDPはどれほどかを理解する。	金盛 直茂
8	日本経済の仕組み	日本の財政政策。政府支出は、GDPをどれほどあげるのかを理解する。	金盛 直茂
9	日本の社会保障	人口減少と社会保障。少子化はなぜ起きたのかを理解する。	金盛 直茂
10	日本の社会保障	公的年金制度。賦課方式と積立方式の違いを学ぶ。	金盛 直茂
11	日本の社会保障	医療保険制度。医療保険と財政の問題を考える。	金盛 直茂
12	日本の社会保障	生活保護制度。生活保護と財政の問題を考える。	金盛 直茂
13	日本の財政	歳入から日本の財政状態を把握する。	金盛 直茂
14	日本の財政	日本の財政赤字。とくに、プライマリーバランスとは何かを理解する。	金盛 直茂
15	総括	講義のまとめ。	金盛 直茂

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

小テスト30%、期末試験70%で評価する。小テストを毎回の授業で課し提出してもらおう。小テストは、次回の授業にて返却し、授業内で小テストの解説を行う。

【教科書】

使用しない。毎回、プリント資料を配布する。

**【参考書】**

- ・マンキュー 『マンキュー入門経済学 第3版』,東洋経済新報社, 2019年
- ・安岡匡也 『経済学で考える社会保障制度 第2版』,中央経済社, 2021年
- ・伊藤元重 『入門経済学 第4版』,日本評論社, 2015年
- ・中谷武、中村保 編 『1からの経済学』,碩学舎, 2010年

**【学修の準備】**

復習：授業終了後に小テストと課題を提示する。小テストと課題に取り組むこと（80分）。

予習：関連した文献、記事を提示するので、読んでおくこと（80分）。

**【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】**

社会の変化、科学技術の進展に合わせて、教養と専門性を維持向上させる能力を修得しているという、心理科学部のディプロマ・ポリシーに適合している。